



<学校教育目標>  
心も体も元気な岡村っ子  
おもいやりをもち、  
かがやく自分を求めて、  
むちゅうになって共に学び  
みらいを創っていく子



横浜市立岡村小学校・学校だより R4.1.31 <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/okamura/> 岡村小学校で検索

## 今日 一日 自分ができることを 精一杯 やり切りたい

副校長 船山 道太

皆様をご存知の通り、神奈川県が、1月14日から2月13日まで、まん延防止等重点措置の対象となりました。市内小中学校では、感染症対策の基準を一層高め、教育活動の継続を図ることになりました。この期間においても、皆様のご協力を賜いますことを、非常に有り難く感じております。今月号で、具体的な取り組みと子どもたちの様子の一部、報告します。

登校時は、密状態を回避するため、正門前では、静かに一列に並んで待つことにしました。はじめの方に学校に到着する子どもたちが、お願いしたように静かに並んでいますと、その後から登校する子どもたちもそれにならいます。子どもたちの順応がはやいことに、驚かされます。子どもたちは、速やかに教室に向かい、手洗いを済ませます。換気にも、気を配ります。登校前に、校内の200枚をこえる窓を開けます。各教室は、二方向の常時換気。空調はフル稼働です。健康被害を起こさないように気を配ります。給食の時間は、マスクを外します。学校生活の中で、最も感染のリスクが高い活動時間帯といえます。「いただきます」から、「ごちそうさま」までの20分間は、原則立ち歩かないようにすること、また、会話を控えることに取り組んでいます。おかわりは、「いただきます」の挨拶の前に、行います。さらに、食後も手洗いを徹底するようになりました。私は、この取り組みがはじまるときに、1年生の教室で、給食の時間の指導にかかりました。初日、約束事を確認して、試行してみました。翌日には、目に見えるくらい、子どもたちの様子に変化が見られるようになりました。子どもたちは、がんばっています。このようすを、担任の先生に、伝えました。子どもたちは、この努力を翌日、先生にほめられました。子どもたち自身が、この期間を、しっかりと乗り切るため、今日できることを精一杯取り組んでいます。

たいへん気をつけて生活していたとしても、感染症に罹患することはあります。学級閉鎖等、しかるべき判断をしなければなりません。これらのことで、ぜひ、だれ一人、傷つくことがないことを切に願います。感染症にかかわる偏見、差別、また、いじめについては、学校でも指導をさせていただいているところですが、ご家庭でも、それぞれの立場に立って、人を思いやる心の教育をしてくだっていることを感じます。学校と家庭の両輪で進めていけることに感謝しています。

岡村小学校を、学校、家庭、地域が協力して、さらに、安心して過ごせる場所にしていきたいです。話は、感染症からずれますが、いじめの案件について、0を目指しております。しかし、なかなか、解消されません。新しい案件が発生しています。発生後の対応、また、発生を予防することに、引き続き取り組んでまいります(学校 HP 過日 掲載)。保護者の皆様の協力なしには、子どもたちへのよりよい教育はできません。たくさんの人の目で、子どもたちをあたたく見守っていただいています。今後も、ご支援くださいますようお願いいたします。

最後に岡村小学校は、来年度創立60周年を迎えます。人間であれば、還暦です。様々な歴史がございます。6歳から12歳までの子どもたちが、この地域、学校に改めて、愛着をもち、自分の人生を紡ぎながら、新しい可能性を 自主的に追求する令和4年となるようにしていきたいと考えています。

この2月においても、今日 一日 自分ができることを 精一杯 やり切る、心も体も元気な岡村っ子を応援していきます。ご苦勞をおかけいたしますが、学校は、しっかりとやり切っていきます。



左：教職員が教材研究をしている様子

右：創立10周年当時の様子 旧校舎

